

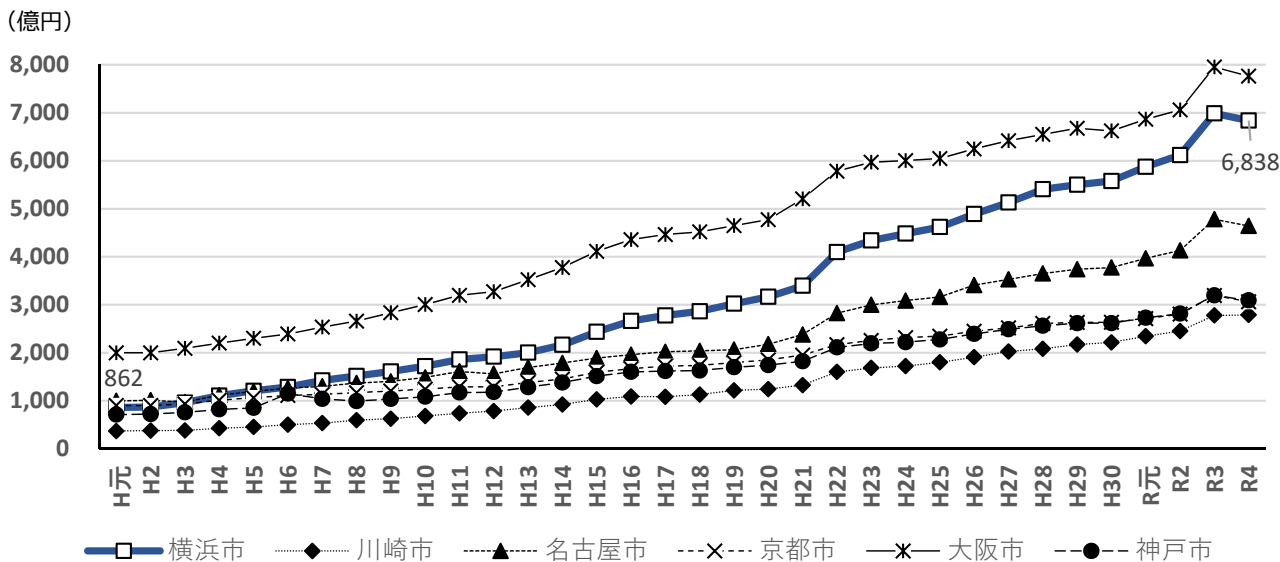
主要財政データ（類似団体比較）

・総務省「地方財政状況調査」個別データ（普通会計）より作成
 ・総人口は「大都市統計比較年表」より、各年10月1日推計人口を使用
 令和4年度総人口は「住民基本台帳人口」より、令和5年3月末人口を使用

1 社会保障経費

- 社会保障経費は扶助費と保険・医療繰出金の合計です。扶助費は児童、高齢者、障害者、生活困窮者などに対して、国や地方公共団体が行う支援のための費用です。保育所の運営費、障害者の自立を支援する費用、生活保護費などが該当します。保険・医療繰出金は国民健康保険事業会計、介護保険事業会計、後期高齢者医療事業会計（H20.3までは老人保険医療事業費会計）に対する繰出金です。
- 本市の社会保障経費は、総額では大阪市に次いで多くなっていますが、市民一人当たりで見ると、最も少ない水準です。しかし、本市は扶助費のうち単独事業が総額、一人当たりともに多いことが特徴です。

(1) 社会保障経費推移



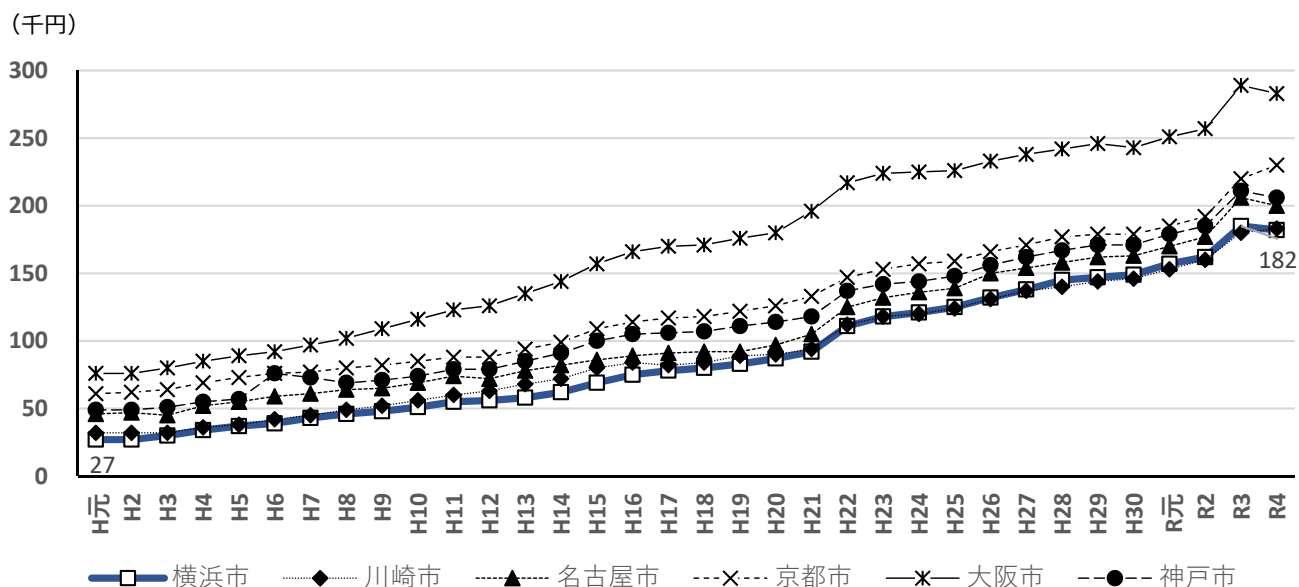
	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
横浜市	862	871	960	1,107	1,207	1,288	1,425	1,517	1,611	1,721	1,861	1,919	2,003	2,166	2,438	2,665	2,777
川崎市	371	380	385	429	456	505	536	598	627	685	741	788	859	924	1,030	1,091	1,085
名古屋市	999	1,013	975	1,118	1,196	1,265	1,303	1,371	1,404	1,487	1,613	1,563	1,695	1,787	1,891	1,960	2,020
京都市	902	902	936	1,014	1,065	1,112	1,134	1,170	1,206	1,244	1,293	1,290	1,382	1,454	1,595	1,671	1,721
大阪市	2,000	2,000	2,094	2,203	2,303	2,392	2,536	2,660	2,836	3,006	3,198	3,275	3,523	3,777	4,115	4,358	4,464
神戸市	713	725	759	823	853	1,150	1,040	994	1,039	1,086	1,173	1,182	1,285	1,381	1,515	1,602	1,620

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
横浜市	2,865	3,023	3,166	3,396	4,097	4,340	4,483	4,620	4,889	5,129	5,406	5,501	5,577	5,875	6,117	6,987	6,838
川崎市	1,131	1,217	1,245	1,327	1,603	1,686	1,724	1,802	1,909	2,028	2,084	2,172	2,218	2,346	2,455	2,779	2,790
名古屋市	2,040	2,066	2,179	2,380	2,826	2,999	3,088	3,165	3,410	3,529	3,652	3,740	3,776	3,968	4,132	4,782	4,642
京都市	1,737	1,798	1,852	1,954	2,170	2,258	2,318	2,347	2,451	2,519	2,613	2,635	2,636	2,713	2,807	3,195	3,064
大阪市	4,519	4,649	4,775	5,208	5,785	5,969	6,004	6,048	6,247	6,417	6,549	6,678	6,622	6,866	7,060	7,953	7,763
神戸市	1,630	1,699	1,744	1,825	2,113	2,196	2,221	2,277	2,395	2,489	2,565	2,617	2,618	2,729	2,816	3,198	3,092

※当該年度中最も金額の少ない数値を網掛け

- すべての団体で、社会保障経費は増加傾向にあり、その中でも生活保護給付額が多い大阪市の社会保障経費が最も多くなっています。
- 大阪市と川崎市を除く4市は平成7年度頃まで同規模の決算額となっていました。本市の社会保障経費の増加幅が大きくなり、大阪市に次いで2番目の決算額となっています。

(2) 市民一人当たり社会保障経費推移

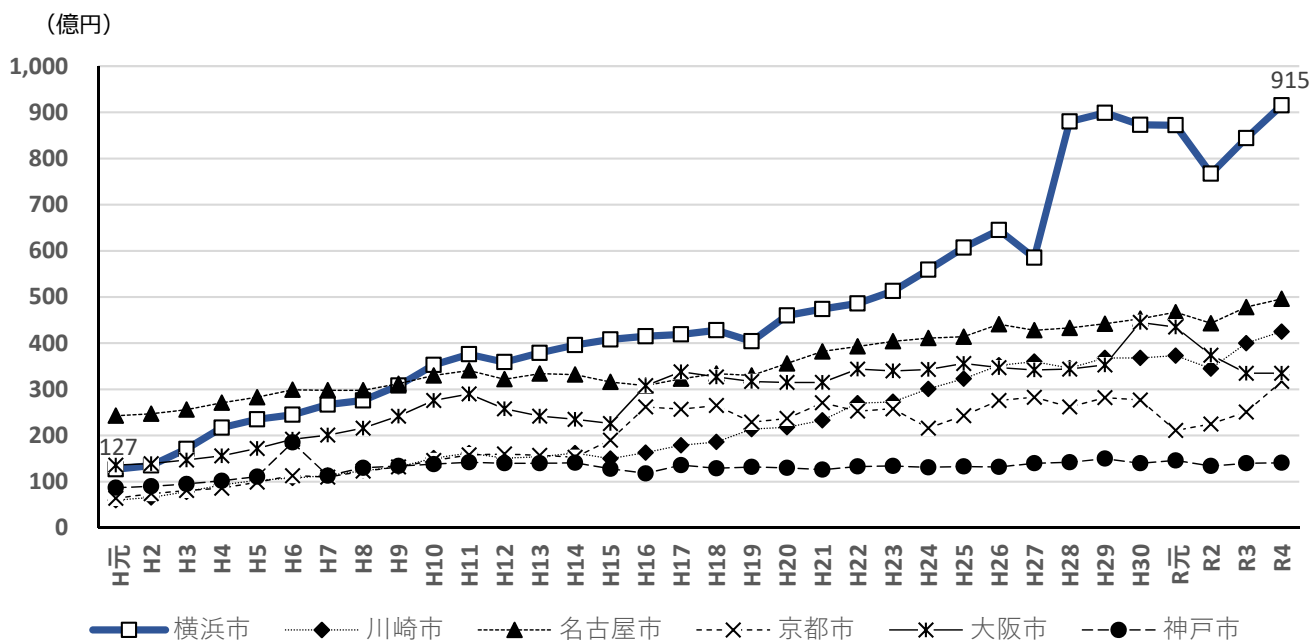


	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
横浜市	27	27	30	34	37	39	43	46	48	51	55	56	58	62	69	75	78
川崎市	32	32	32	36	38	42	45	49	52	56	60	63	68	72	80	84	82
名古屋市	46	47	45	52	55	59	61	64	65	69	74	72	78	82	86	89	91
京都市	61	62	64	69	73	76	77	80	82	85	88	88	94	99	109	114	117
大阪市	76	76	80	85	89	92	97	102	109	116	123	126	135	144	157	166	170
神戸市	49	49	51	55	57	76	73	69	71	74	79	79	85	91	100	105	106
	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
	80	83	87	92	111	118	121	125	132	138	145	147	149	157	162	185	182
	84	89	90	94	112	118	120	124	131	137	140	144	146	153	160	180	183
	92	92	97	105	125	132	136	139	150	154	158	162	163	170	177	206	200
	118	122	126	133	147	153	157	159	166	171	177	179	179	185	192	220	230
	171	176	180	196	217	224	225	226	233	238	242	246	243	251	257	289	283
	107	111	114	118	137	142	144	148	156	162	167	171	171	179	185	211	206

※当該年度中最も金額の少ない数値を網掛け

- 生活保護費給付額が多い大阪市の市民一人当たり社会保障経費が最も多くなっています。
- 本市の市民一人当たり社会保障経費は、最も少ない水準ですが、平成元年度から6.7倍に増えており、増加幅は他団体よりも大きくなっています（川崎市5.7倍、名古屋市4.3倍、京都市3.8倍、大阪市3.7倍、神戸市4.2倍）。

(3) 扶助費（単独事業費）推移



	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
横浜市	127	135	171	217	235	245	267	276	308	353	376	359	379	396	408	415	419
川崎市	60	66	78	93	103	108	113	124	132	151	162	151	154	162	150	163	179
名古屋市	243	247	256	271	283	299	298	298	312	330	341	322	334	332	316	308	323
京都市	64	74	81	86	99	113	110	123	132	146	158	160	157	153	190	262	257
大阪市	136	139	147	156	172	192	201	216	242	276	290	258	242	235	226	308	338
神戸市	87	90	95	102	111	185	113	130	134	138	142	140	140	141	128	118	136

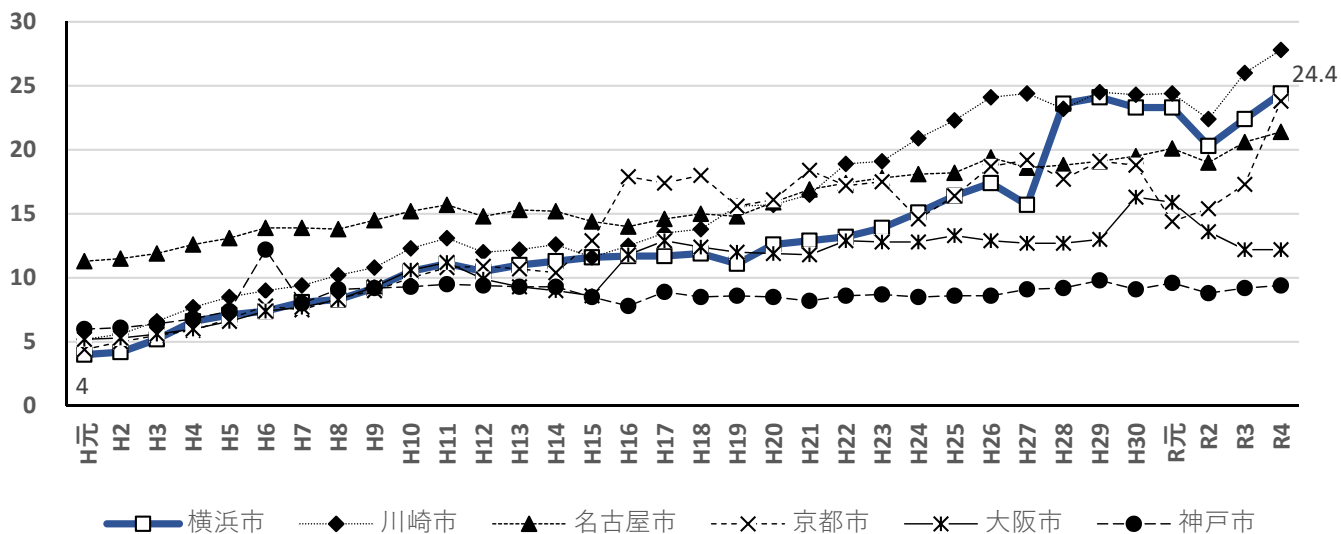
H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
428	404	460	474	486	513	559	607	645	585	880	899	873	872	767	844	915
186	214	218	233	270	273	301	323	352	360	346	368	368	373	345	400	425
334	330	356	382	393	404	411	414	441	428	433	442	453	467	443	478	496
265	229	237	271	253	258	216	243	276	283	262	282	277	211	225	251	317
327	317	315	315	344	340	343	356	347	342	344	353	445	435	374	335	335
129	132	130	126	133	134	131	133	132	140	142	150	140	146	134	140	141

※当該年度中最も少ない金額を網掛け

- 本市以外の5団体の扶助費（単独）は平成元年度から概ね100～450億円の事業規模におさまっていますが、本市は平成23年度に500億円を超え、直近の令和4年度は915億円となりました。
- 平成27年度から28年度にかけて本市の扶助費（単独）は約300億円増加していますが、これまで扶助費（補助）と区分していた事業の一部を総務省の通知に沿って、扶助費（単独）に移行した計数整理によるものです。なお、本市以外の団体については、この影響はあまり見られません。

(4) 市民一人あたり扶助費（単独事業費）推移

(千円)



	H元	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17
横浜市	4.0	4.2	5.2	6.6	7.1	7.4	8.1	8.3	9.2	10.5	11.1	10.5	11.0	11.3	11.6	11.7	11.7
川崎市	5.2	5.6	6.6	7.7	8.5	9.0	9.4	10.2	10.8	12.3	13.1	12.0	12.2	12.6	11.6	12.5	13.5
名古屋市	11.3	11.5	11.9	12.6	13.1	13.9	13.9	13.8	14.5	15.2	15.7	14.8	15.3	15.2	14.4	14.0	14.6
京都市	4.4	5.0	5.5	5.9	6.8	7.8	7.5	8.4	9.0	10.0	10.8	10.9	10.7	10.4	12.9	17.9	17.4
大阪市	5.2	5.3	5.6	6.0	6.6	7.4	7.7	8.3	9.3	10.6	11.2	9.9	9.3	9.0	8.6	11.8	12.9
神戸市	6.0	6.1	6.4	6.8	7.4	12.2	8.0	9.1	9.2	9.3	9.5	9.4	9.3	9.3	8.5	7.8	8.9

	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4
横浜市	11.9	11.1	12.6	12.9	13.2	13.9	15.1	16.4	17.4	15.7	23.6	24.1	23.3	23.3	20.3	22.4	24.4
川崎市	13.8	15.6	15.7	16.5	18.9	19.1	20.9	22.3	24.1	24.4	23.2	24.5	24.3	24.4	22.4	26.0	27.8
名古屋市	15.0	14.8	15.9	16.9	17.4	17.8	18.1	18.2	19.4	18.6	18.8	19.1	19.5	20.1	19.0	20.6	21.4
京都市	18.0	15.6	16.1	18.4	17.2	17.5	14.6	16.4	18.7	19.2	17.7	19.1	18.8	14.4	15.4	17.3	23.8
大阪市	12.4	12.0	11.9	11.8	12.9	12.8	12.8	13.3	12.9	12.7	12.7	13.0	16.3	15.9	13.6	12.2	12.2
神戸市	8.5	8.6	8.5	8.2	8.6	8.7	8.5	8.6	8.6	9.1	9.2	9.8	9.1	9.6	8.8	9.2	9.4

※当該年度中最も多い金額を網掛け

- 神戸市のように30年前から大きく変動がない（平成元年度6千円→令和4年度9.4千円）団体もあれば、京都市のように年度間で増減があらわれている団体や、川崎市のように30年前から上昇が続き増加幅が大きくなった（平成元年度5.2千円→令和4年度27.8千円）団体と様々であり、また、年度が進むにつれて類似団体間の乖離幅が広がる傾向にあります。川崎市と本市の金額は類似団体間で最も高くなっています。
- 平成27年度から28年度にかけて、本市の市民一人あたり扶助費（単独事業費）は約8千円上昇していますが、これまで扶助費（補助）と区分していた事業の一部を総務省の通知に沿って、扶助費（単独）に移行した計数整理によるものです。なお、本市以外の団体については、この影響はあまり見られません。